

議 事 の 経 過

【開催日時・場所】

平成27年2月13日（金）午後1時30分～午後2時45分

【出席者】

委員15名中12名

【傍聴人数】

1人

【議事】

- (1) 市民コメントの結果について
- (2) 第2期坂戸市地域福祉計画原案について
- (3) その他

【配布資料】

資料1…坂戸市地域福祉計画・坂戸市社会福祉協議会地域福祉活動計画市民コメントについて

資料2…第2期坂戸市地域福祉計画原案

発 言 者

議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

委員  
委員  
事務局  
委員

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事  
(1) 市民コメントの結果について  
質問なし  
  
(2) 第2期坂戸市地域福祉計画原案について  
P34 ページの表示がわかりづらい  
枠外か枠内の右寄りに記載するのはどうか。  
色を変えるなどしてもっと分かり易く、枠内に表示する。  
P36、37のように2ページにまたがっている表や、線が消えている表は修正をする。  
「一人ひとり」「ひとりひとり」などは言葉を統一する。(別紙参照)

<p>委員 事務局 委員</p>	<p>第4章 段落を入れるなどして、市と社協を明確にする。 市と社協の区別をどのようにするか検討する。</p> <p>①P1 4行目 共助、互助、公助に「自助」を加える。</p> <p>②P1 13行目 「若年層の雇用情勢の悪化など」 若年層の雇用情勢は改善されているので、表現に違和感を感じる。</p> <p>③P17 (5)生活保護の状況 高齢者の生活保護受給者が増えている中、坂戸市では保護受給者が減少している。その原因は何か。</p> <p>④P57&lt;市の取り組み&gt; 「老人クラブ連合会」に注釈が必要ではないか。</p> <p>⑤社協は土日も開所しているのか。社協は敷居が高いイメージがある。社協のあり方を考えてほしい。インターンシップを積極的に受け入れていくと良い。</p> <p>⑥地域包括ケアシステム（攻めの社会福祉） 広島県庄原市・・・空家を高齢者のデイサービスの拠点として活用している。デイサービスを利用する高齢者の多くは野菜を作っているが、どこにも出荷することがなく廃棄していた。その野菜を高齢者施設や障害者施設が買い入れることにより、高齢者は社会に必要とされているという意識が生まれる。野菜を売った高齢者には地域通貨を発行しており、その地域通貨を地元で使うことにより、地域が潤い、地域が活性化される。また、活動を通して色々な方と縁ができ、ネットワークが広がり、行政に頼ることなく「無縁社会」を克服する仕組みづくりができています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>⑤社協は土日開所していない。</p> <p>①「自助」を加える。</p> <p>②第1期計画からの社会情勢を表記している。</p> <p>③リーマンショック後には坂戸市でも受給者が増加し、1000人を超える受給があった。しかし、坂戸市の受給区分は「その他の受給」に分類され、就職したくても就職先のない受給が多かった。そのため、ケースワーカー・就労支援員を増員し、また、市役所内にふるさとハローワークを設置し、川越のハローワークと連携を取って就労指導を行ってきた。それにより生活保護受給者が減少した。平成27年1月末現在621世帯、833人の受給がある。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>その政策効果をもっとアピールすると良い。</p> <p>④坂戸市には40もの単位老人クラブがあり、その名称が浸透しており、すぐに名称変更をするのは難しい。今後、名称や活動内容について、老人クラブに所属している方の意見を聴きながら検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>P8地域包括ケアシステム P9地域のケアシステム、地域包括</p>

	<p>システムの違いは何か。同じものであれば統一を。また、地域包括ケアシステムがどのようなシステムか分かるように表示があるとよい。</p>
事務局	<p>地域包括ケアシステムを表した図を掲載するか、また、掲載場所を資料編にするのかを検討する。</p>
委員	<p>P 2 2 ②事業者の福祉サービスの内容や質が適正であるか点検する仕組みづくり これは、点検し、改善するよう指導し、その内容を公表することを指すのではないのか。</p>
事務局	<p>P 4 6 事例研究、ケース会議などにより～ これは地域ケア会議を示すことであって、P 2 の内容を含んでいないように思われる。</p>
委員	<p>含んでいる。</p>
	<p>P 6 5 ふれあい・いきいきサロン  ①事業内容に高齢者・障害者・子育て中の親と子などが気軽に集まり～  現状は、高齢者は高齢者、障害者は障害者、子育て中の親と子は親と子と、別々にふれあいサロンを開催している。  ②今のふれあい・いきいきサロンは、決まった人のみが参加できるサロンである。カフェのような誰でも、いつでも立ち寄れるサロン展開は考えていないのか。</p>
社協	<p>①東部では高齢者や障害者、子育て中の親と子はそれぞれが別々にサロンを開催しているが、他の地区では高齢者、障害者、子育て中の親子が一緒になってサロンに参加している。</p>
	<p>②現時点では定期的を開催するサロンとして実施しているが、今後市民からカフェのようなサロンを開催してほしい旨の要望が出れば考えていかななくてはならない。</p>
委員	<p>市民コメントが0件であった。坂戸市は財政難であり、また、人材も確保できないと聞いている。この計画をどれだけ実行できるのか。100%実行できるようなものにしてほしい。自治会や今あるボランティアだけではなかなか実行できないと思うので、是非社協に頑張ってもらいたい。新たにボランティアを募るなど、様々な面で社協の力が必要となる。</p>